

共に前へ

佐世保市立日宇中学校
学校だより No. 48
発行日 R5.12.8
発行者 中野 一史

～昨日までの自分（自分達）を超える～



【重点目標】めざす生徒の姿

- ・学ぶ楽しさを「自ら学ぶ力」につなげ、目標を立てて学習に取り組む生徒
- ・日宇中PRIDEを自覚し、やるべきことに、我慢強く、最後まで取り組む生徒
- ・みんながリーダー・みんながフォロワーとしてより良い学校・学級づくりに取り組む生徒
- ・自らの進化・成長に向け、「いのち」を輝かせて諸活動に取り組む生徒

○日宇中ホームページアドレス

<http://www.city.sasebo.ed.jp/jh-hiu/>



授業参観・懇談会へのご参観、ありがとうございました！

12月1日(金)に1、2年生の授業参観・学年懇談会を実施したところ、多数の保護者の皆様のご参観、誠にありがとうございました。授業参観では生徒たちの学ぶ姿を見ていただくとともに、学年懇談では、「2学期の学校生活」と「進路（次年度からの入試改革）」について説明をしてもらいました。お子様の今後の学習面・生活面について見つめるよい機会になったのではないのでしょうか。

2学期も残り2週間余り、落ち着いた生活を心掛け、次に向かうための「プラス行動」を続けてほしいと思います。

人権集会から

12月7日(木)の5・6校時に、「人権集会」を実施しました。

今年度の人権学習では、「仲間づくり活動を行い、自他共に大切にすることを育てよう」という学習テーマのもと、各学級において実行委員による「聴き方上手になれるかな」という授業が展開されました。授業では、「相槌を打ちながら、ちゃんと反応しながら聴く」「何の反応もしない、目も合わせずに聴く」という2つの聴き方の違いから感じたこと・考えたことを共有しました。授業を通して、仲間づくりや人間関係を深めるために、「コミュニケーションにおいて大切なこと」を改めて学んだ・気づかされたようでした。

集会では、ソーシャルスキルトレーニングという方法を使って、「日頃の生活の中で、友だちにとってどんな関わり方や言葉を使って対話をすれば、よいコミュニケーションができるのか」を学習しました。

【いっしょ！いっしょ！】

これから私たちがいくつもの新たな人間関係を築いていくために、初めての人とどう話をしているのか、どう関わっていけば上手く接していけるのかを体験しました。少しでも自分と同じところや似たところ、共通の話題があればほっとした気持ちや仲間意識が芽生えることを実感しました。



【なんて言うかな？】

日常生活の中で、「こんな時、自分はどのように動けばいいのか」ということについて考えました。相手の気持ちに寄り添ったり、誠実な行動や言動を取ったりすることを考えるきっかけになったと思います。



次に、いじめ防止標語コンテスト優秀作品の紹介がありました。

【1年生】

○どんな時でも話しかけて

いつでもみんなは 君の味方だよ

1年4組 山口 琥音太

○和をもって 支えてあげるよ 君のこと

1年6組 指方 悠清

【2年生】

○本当はみんながノリでやっただけ

通用すると思いますか？

2年1組 西野 凜

○優しさの輪を広げるために

発言の前に一步 踏みとどまってみよう

2年2組 橋本 零

【3年生】

○支え合い 話せば みんな 友達さ

3年4組 鈴木 勇功

○仲間と共に 手を取り合って

誰一人、こぼさぬように

3年5組 古賀 実侑

私(校長)からは、「一人ひとりが思いやりの心を持って、今いる場所を大切にしてほしい」と伝えました。その中で、『行為の意味』という詩を紹介しました。

『行為の意味』 宮沢 章二

あなたの心はどんな形ですかと
人に聞かれても答えようがない
自分にも 他人にも心は見えない
けれど 本当は見えないのであろうか

確かに心はだれにも見えない
けれど 心づかいは見えるのだ
それは人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えない
けれど 思いやりはだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
「心」も「思い」も初めて美しく生きる
それは人が人として生きることだ